

平成25年 8月 7日

国公立大学 教育担当理事・副学長 殿

岡山大学教育開発センター長

阿 部 宏 史

岡山大学教職員研修「桃太郎フォーラムXVI」の開催について（通知）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、平成10年度から、カリキュラム改革やティーチング改善等に関するテーマにより、毎年、教職員研修「桃太郎フォーラム」を開催しております。

今年度は、質の伴った学修時間の実質的な増加・確保を始点とした学士課程教育の教育改善の具体的方策として、「アクティブ・ラーニングの実践に向けて」をメインテーマと定め、プログラムを企画しております。この他、教育改革等に関する分科会を予定しておりますので、貴学教職員にもご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

つきましては、参加を希望される場合は、FAX又はEメールにて、9月6日（金）までに、本学学務部学務企画課あてお申し込み願います。（FAXの場合は、別紙「教員研修参加申込書」により、Eメールの場合は、様式随意で必要事項を記入の上、お申し込みください。）

URL：<http://cfd.cc.okayama-u.ac.jp/>

問い合わせ先・申込み先：岡山大学学務部学務企画課（担当：今西）

TEL 086-251-7173 FAX 086-251-8440

Eメール：[imanishi-m@adm.okayama-u.ac.jp](mailto:imanishi-m@adm.okayama-u.ac.jp)

平成25年度 「桃太郎フォーラムXVI」プログラム

|         |                                  |
|---------|----------------------------------|
| テーマ     | 「アクティブ・ラーニングの実践に向けて」             |
| 日時      | 平成25年9月20日(金)                    |
| 会場      | 創立五十周年記念館(午前)・一般教育A棟, B棟, C棟(午後) |
| 参加予定人数  | 約150名                            |
| 主催      | 教育開発センター                         |
| 企画・実施組織 | FD委員会                            |

【プログラム】

午前の部

会場：創立五十周年記念館

総合司会：FD委員会教授法開発WG座長 和賀 崇(教育開発センター)

- 挨拶：岡山大学理事・副学長(教育担当)・教育開発センター長 阿部宏史 9:30～9:40
- 特別講演 座長：佐々木健二(教育開発センター副センター長) 9:40～10:40  
「アクティブ・ラーニングの現状と課題～東京大学教養学部事例～」  
東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 林 一雅  
質疑応答 10:40～10:50
- シンポジウム 座長：中塚幹也(FD委員会委員長) 11:00～12:10  
「岡山大学工学部におけるアクティブ・ラーニングの教育成果と今後の課題」 (30分)  
シンポジスト：塚本 真也(自然科学研究科：工学系)  
「学生からみるアクティブ・ラーニング」 (10分)  
シンポジスト：後藤 千尋(学生・教職員教育改善専門委員会，薬学部2年)  
討論・質疑応答など (30分)  
コメンテーター：東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 林 一雅
- 各分科会の紹介：FD委員会教授法開発WG座長 和賀 崇(教育開発センター) 12:10～12:15  
<昼休憩> 12:15～13:30(創立五十周年記念館から一般教育棟A棟, B棟, C棟へ移動)

午後の部

会場：一般教育棟A棟, B棟, C棟

- 分科会 13:30～15:30  
各会場で分科会の趣旨説明と内容紹介(司会：各座長) (13:30～13:40)
- 第1分科会(会場：A34) (FD委員会教授法開発WG, 勉学環境WG)  
テーマ：アクティブ・ラーニングをサポートする様々な取り組み  
座長：和賀 崇(FD委員会教授法開発WG座長), 長瀧寛之(FD委員会勉学環境WG座長)  
話題提供者：  
「附属図書館(学修支援交流棟：仮称)における知と人材を活用するアクティブ・ラーニングの構想  
ークリティカルシンキングとフィンランド方式対話法ー」 田原 誠(附属図書館 副館長)  
「学生が自発的に参加するL-cafe 英語レッスンの意義とその役割」  
学生が学生に教える『スチューデント・ティーチャー』システムについての検証 宇塚 万里子(言語教育センター)  
「(全学教職課程の学生の活動を支えるサービスに関する取り組み)」 佐藤 大介(教師教育開発センター)  
アドバイザー：東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 林 一雅

## 第2分科会（会場：A36）

（FD委員会学士課程WG）

テーマ：学士課程カリキュラムと学力

座長：京 健治（FD委員会学士課程WG座長）

話題提供者：

1. 「Q-cumシステムを利用した学部カリキュラムの検証 — 経済学部での取り組み — 」

和田 豊（社会文化科学研究科）

2. 「〈修学指導〉と〈Q-cumシステム/GPA制度〉」

京 健治（社会文化科学研究科）

3. 全体討論

「学生・教職員教育改善専門委員会委員【藤岡祥子（文学部2年）・原田のどか（工学部2年）  
・森脇混人（経済学部1年）】を交えた意見交換

## 第3分科会（会場：A37）

（FD委員会大学院WG）

テーマ：大学院教育充実に向けて — 各部局のコースワーク・リサーチワークの構築 —

座長：作田 誠（FD委員会大学院WG座長）

話題提供者：

「大学院教育充実に向けて」

佐々木 健二（全学大学院教育改革推進委員会 大学院教育構築WG）

— 以下、各部局のコースワーク・リサーチワークの構築・考え方 —

「保健学研究科のコースワーク」

小田 慈（保健学研究科）

「自然科学研究科のコースワーク」

五福 明夫（自然科学研究科）

「社会文化科学研究科のコースワーク」

太田 仁樹（社会文化科学研究科）

「全体討論」

## 第4分科会（会場：B31）

（FD委員会授業評価アンケートWG）

テーマ：授業評価アンケートの改訂に向けて

座長：山下 登（FD委員会授業評価アンケートWG座長）

話題提供者：

「授業評価アンケートの書式の改訂ならびに集計方法の改善提案」

山下 登（法務研究科）

「長崎県立大学の授業評価に関する取組み」 - 三学部の内容統一と公開に向けて -

石川 雄一（長崎県立大学経済学部長）

佐藤 尊範（長崎県立大学教育開発センター）

「学生の視点から見た良い授業評価アンケートとは？」

長坂 佳世（学生・教職員教育改善専門委員会、教育学部3年）

## 第5分科会（会場：C32）

（FD委員会）

テーマ：SDことはじめ：ワークショップ

座長：遠山 和大（FD委員会）

話題提供者：

「岡山大学におけるSDの現状について」

（総務・企画部人事課）

「学内での積極的な取り組み紹介」

久保田 将弘（財務部財務企画課）

「学生の職員に対する満足度アンケート — 学生の視点からの意見」

尾木 篤志（学生・教職員教育改善専門委員会、経済学部4年）

「福岡教育大学におけるスタッフ・ディベロップメント（SD）推進事業について」

小栗 辰郎（福岡教育大学教育支援課主査）

（第5分科会は、学内限定となります。）

## 第6分科会（会場：C31）

（保健管理センター）

テーマ：学生のメンタルヘルス：コミュニケーション力に問題を持つ学生の理解と対応

コーディネーター：大西 勝、清水 幸登、河原 宏子（保健管理センター）

①講演

「学生のつまづきを知り、指導に活かす」

桂川 泰典（学生支援センター）

②メンタルヘルス対応の実践トレーニング ～模擬ケースを用いたワークショップ～

（第6分科会は、教職員限定となります。）

## 教員研修参加申込書

1 大 学 名 \_\_\_\_\_

2 学部（研究科）名 \_\_\_\_\_

3 職 名 \_\_\_\_\_

4 氏 名 \_\_\_\_\_

・ 電話番号 \_\_\_\_\_

・ 電子メールアドレス \_\_\_\_\_

5 分科会（午後）への参加

午後の分科会について、第二希望まで選択してください。

（該当個所にレ印をお願いします。）

第一希望

- ☐ 第1分科会【アクティブ・ラーニングをサポートする様々な取り組み】
- ☐ 第2分科会【学士課程カリキュラムと学士力】
- ☐ 第3分科会【大学院教育充実に向けて】
- ☐ 第4分科会【授業評価アンケートの改訂に向けて】
- ☒ ~~第5分科会【SDことはじめ：ワークショップ】~~ ※学内限定となります。
- ☐ 第6分科会【学生のメンタルヘルス：模擬ケースをグループで検討する】

第二希望

- ☐ 第1分科会【アクティブ・ラーニングをサポートする様々な取り組み】
- ☐ 第2分科会【学士課程カリキュラムと学士力】
- ☐ 第3分科会【大学院教育充実に向けて】
- ☐ 第4分科会【授業評価アンケートの改訂に向けて】
- ☒ ~~第5分科会【SDことはじめ：ワークショップ】~~ ※学内限定となります。
- ☐ 第6分科会【学生のメンタルヘルス：模擬ケースをグループで検討する】

\* 本申込書の提出期限―― 9月6日（金）